

学校だより 時を守り 場を清め 礼を正す

けいせい

帯広市立啓西小学校

どんだん(活動する子)

わくわく(感動する子)

いきいき(表現する子)



令和6年4月25日発行

私たちが学び続けます ～子どもとの向き合い方を！！～

VOLI 子どもとのコミュニケーションのポイント

～コーチング・スキルを使った関わり方～

4月19日(金)、校内研修の一環として、「子どもとのコミュニケーションのポイント」～コーチング・スキルを使った関わり方～と題して、〇〇代表 〇〇〇〇さんをお招きし、子どもとの関わりの中で大切にしたいことを、コーチングの視点からお話ししていただきました。

講話のすべては紹介できませんが、『声かけのポイント』や『話しを聴いてあげることによる効果』など、講演のスライドをもとに紹介します。

ティーチングとコーチング



ティーチングとは：知識・技術・経験などを教える
一方通行でのやりとり

コーチングとは：問いかけて、考え・気づき・回答を引き出す双方向のやりとり

「声かけ」のポイント

- よくなったことを伝える
- プロセス（過程）を重視する
- 感謝のことは伝える
- あいさつ、返事

日頃、使っている言葉、よく耳にする言葉は、自然と身につけてしまいます。言葉は人格の形成や人生に大きく影響します。故に、言葉の環境を整えていかなければなりません。

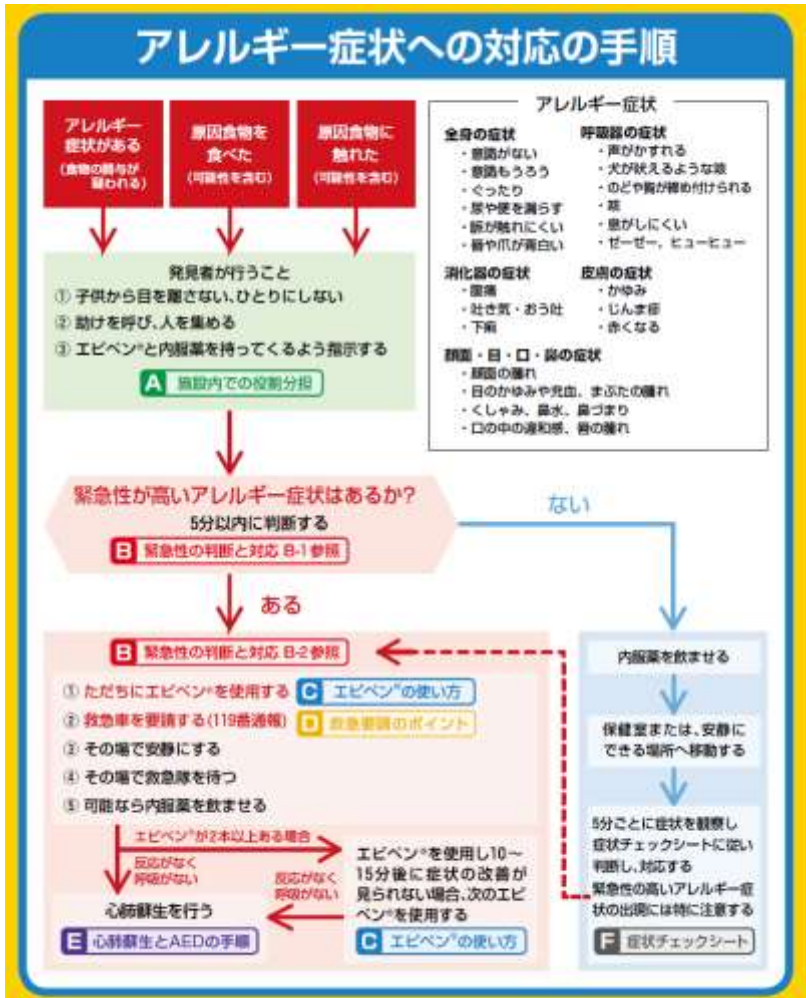
聴かれることの効果

- 尊重されているという実感をもてる
- 自分の思いや考えを整理できる
- いろいろな気づき生まれる

話を聴いてくれていると・・・
安心感、自己肯定感、信頼が生まれる

今回の講話から、子ども自身が『自分のことを自分で決めること（自己決定）』ができるように、『声かけ』や『聴くこと』を上手に使い、環境を整えることが大切であると感じました。

VOL2 緊急時に迅速かつ的確な対応をするために



4月3日(水)、養護教諭が全職員にレクチャーする形でエピペン講習会を行いました。体育の授業が終わり、教室に戻るやショック症状が現れたことを想定しました。

職員それぞれで役割を担い、情報連携と行動連携を確認しました。近年、アレルギーや熱中症など子どもを取り巻く環境は複雑化・多様化しています。こうした中、私たち職員は子どもの安全を担保することが求められています。

左の図は、東京都が作成した緊急マニュアルの一部です。年度の早い時期に職員間で情報を共有し、対応を確認することができました。いざという時に、「知識として備えていれば、行動に移すことができる」の観点から私たちは、学び続けていきます。

*下の写真は、養護教諭が全体説明する一コマとAEDを使用している場面を収めたものです。

新年度がスタートして、2週間あまりが過ぎました。明るい笑顔と笑い声に包まれた環境をこれからも維持し続けていきたいと思えます。

今回は、職員の動きを中心にお伝えしましたが、次号では、子ども達の様子など写真を交えてお伝えします。

やったね！啓西っ子！

※学校だよりを本校のホームページに掲載する際は、個人情報保護のため名前等は削除しています。

日本珠算連盟暗算検定
一級合格 () さん

MoMonGersCup 3・4位トーナメント
優勝 啓西バモラJr. FCA

子どもの詩 サイロ入選
() さん

これからも啓西っ子の活躍を期待しています(˘˘) *今回は昨年度3月のものを紹介しています